



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 日本ピグメント株式会社
 コード番号 4119 URL <https://www.pigment.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 龍巳
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員 (氏名) 今井 信一
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6362-8801

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	6,679	△11.5	439	—	515	—	356	—
2021年3月期第1四半期	7,546	△28.9	△138	—	△159	—	△91	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 608百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △493百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	226.88	—
2021年3月期第1四半期	△58.06	—

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	33,733	14,323	39.7
2021年3月期	32,341	13,793	40.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 13,399百万円 2021年3月期 12,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,300	△18.0	350	—	350	—	230	—	146.50
通期	23,500	△22.0	850	221.9	850	176.6	500	—	318.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	1,575,899 株	2021年3月期	1,575,899 株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	5,980 株	2021年3月期	5,965 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	1,569,928 株	2021年3月期1Q	1,569,957 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(会計方針の変更).....	8
(セグメント情報等).....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動や設備投資に一部持ち直しの動きも見られるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動の制限が続いており、景気の先行きは不透明な状況となっております。一方、海外は、中国や欧米をはじめとして各国でのワクチン接種が進み、経済は正常化に向かいつつありますが、感染力の強い変異株の流行により、足元では景気下振れリスクに警戒感が高まっています。

このようななか当社グループにおいては、半導体不足や米国の寒波、海運のコンテナ不足等の影響を一部受けたものの、日本国内での自動車関連の堅調な受注に支えられ、業績は順調に推移しました。当第1四半期連結累計期間の売上高は、当期から日本国内で適用される「収益認識に関する会計基準」により、受託加工品の売上高を純額で認識することによる影響を受け、66億7千9百万円(前年同期比11.5%減)となりました。経常利益は5億1千5百万円(前年同期経常損失1億5千9百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億5千6百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失9千1百万円)となりました。

当社グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

「日本」

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、一部半導体不足の影響を受けたものの、当社取引先である樹脂メーカーからの自動車関連の受注が堅調であり、部門営業利益は昨年を上回りました。

樹脂用着色剤部門は、インバウンド需要低迷から化粧品・トイレタリー向けが落ち込んだものの、一部のフィルム関連は堅調に推移し、部門営業利益は昨年を上回りました。

加工カラー部門は、主要取引先の自動車用内装材関連ならびにシーリング材関係で販売が堅調なほか、液体分散体でもパソコン、タブレット向けの国内向けの中小型パネル用途が想定以上の販売となり、部門営業利益は昨年を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期と比べ販売数量は大幅増となったものの、「収益認識に関する会計基準」の適用により、35億5千5百万円(前年同期比28.2%減)、営業利益は3億4千8百万円(前年同期営業損失1億8千5百万円)となりました。

「東南アジア」

東南アジアは、前年度に続き各拠点において各国の感染拡大防止策としての社会的制限下での生産・販売活動となったものの、各国政府の景気刺激策の効果もあり、車両向け等での受注回復により、当第1四半期連結累計期間の売上高は30億3千1百万円(前年同期比19.5%増)、営業利益は1億3千2百万円(前年同期比135.7%増)となりました。

「その他」

その他は、中国国内の自動車販売が一昨年水準まで回復し、受注が堅調であったことから当第1四半期連結累計期間の売上高は9千2百万円(前年同期比64.7%増)となったものの、営業損失5百万円(前年同期営業損失8百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は337億3千3百万円と前期末の323億4千1百万円に比べ13億9千1百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は180億7千1百万円と前期末の167億5千3百万円に比べ13億1千8百万円の増加となりました。この主な要因は受取手形及び売掛金が7億1千9百万円、原材料及び貯蔵品が1億2千5百万円、その他が7億4千5百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定資産は156億6千1百万円と前期末の155億8千7百万円に比べ7千3百万円の増加となりました。この主な要因は投資有価証券が8千万円増加したことなどによるものです。

負債合計は194億9百万円と前期末の185億4千7百万円に比べ8億6千1百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は114億1千8百万円と前期末の102億2千5百万円に比べ11億9千2百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が8億7千4百万円増加したことなどによるものです。固定負債は79億9千万円と前期末の83億2千1百万円に比べ3億3千万円の減少となりました。この主な要因は長期借入金が3億3千8百万円減少したことなどによるものです。

純資産合計は143億2千3百万円と前期末の137億9千3百万円に比べ5億3千万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が2億7千7百万円、為替換算調整勘定が1億9千7百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期における第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2021年5月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,905,810	5,594,500
受取手形及び売掛金	6,354,255	7,073,508
製品	2,087,026	2,127,170
原材料及び貯蔵品	1,541,364	1,666,409
その他	865,467	1,610,617
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	16,753,623	18,071,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,233,384	3,220,713
土地	3,823,507	3,834,151
その他（純額）	2,432,472	2,328,815
有形固定資産合計	9,489,363	9,383,680
無形固定資産	197,308	239,765
投資その他の資産		
投資有価証券	4,874,627	4,954,982
退職給付に係る資産	544,911	566,987
繰延税金資産	161,979	180,029
その他	332,805	349,195
貸倒引当金	△13,355	△13,355
投資その他の資産合計	5,900,969	6,037,839
固定資産合計	15,587,641	15,661,285
資産合計	32,341,265	33,733,191
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,641,446	6,516,314
短期借入金	3,432,967	3,410,473
未払法人税等	128,031	175,745
賞与引当金	158,251	284,359
その他	865,293	1,031,722
流動負債合計	10,225,990	11,418,616
固定負債		
長期借入金	6,502,839	6,164,140
繰延税金負債	918,878	919,515
退職給付に係る負債	401,716	415,448
関係会社整理損失引当金	365,700	365,700
その他	132,609	125,979
固定負債合計	8,321,743	7,990,784
負債合計	18,547,734	19,409,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,033,981	1,033,981
利益剰余金	9,536,380	9,814,071
自己株式	△18,281	△18,313
株主資本合計	12,033,240	12,310,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,697,495	1,695,755
為替換算調整勘定	△782,268	△585,095
退職給付に係る調整累計額	△25,766	△21,569
その他の包括利益累計額合計	889,460	1,089,090
非支配株主持分	870,829	923,800
純資産合計	13,793,530	14,323,790
負債純資産合計	32,341,265	33,733,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	7,546,081	6,679,321
売上原価	6,978,933	5,493,369
売上総利益	567,147	1,185,952
販売費及び一般管理費	705,203	745,999
営業利益又は営業損失(△)	△138,056	439,953
営業外収益		
受取利息	1,862	1,342
受取配当金	41,608	42,625
持分法による投資利益	20,449	39,481
為替差益	—	9,894
その他	24,720	11,857
営業外収益合計	88,641	105,201
営業外費用		
支払利息	27,141	27,096
為替差損	69,407	—
その他	13,385	2,180
営業外費用合計	109,934	29,276
経常利益又は経常損失(△)	△159,349	515,878
特別利益		
固定資産売却益	887	—
投資有価証券売却益	52,226	—
特別利益合計	53,114	—
特別損失		
固定資産除売却損	193	1,734
特別損失合計	193	1,734
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△106,429	514,143
法人税、住民税及び事業税	49,527	162,493
法人税等調整額	△51,845	△17,931
法人税等合計	△2,317	144,562
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△104,112	369,580
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,952	13,393
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△91,159	356,187

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△104,112	369,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97,601	△1,739
為替換算調整勘定	△570,049	199,592
退職給付に係る調整額	10,638	3,376
持分法適用会社に対する持分相当額	72,239	37,978
その他の包括利益合計	△389,570	239,207
四半期包括利益	△493,682	608,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△342,762	555,817
非支配株主に係る四半期包括利益	△150,919	52,970

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第 1 四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、有償支給取引については、従来は売上高と売上原価を総額で計上し、有償支給材については四半期連結貸借対照表上、製品ならびに原材料及び貯蔵品に含めて計上しておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間の期首からは加工費相当額のみを純額で収益として計上し、有償支給材については四半期連結貸借対照表上、流動資産のその他として計上する方法に変更しております。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第 1 四半期連結累計期間の売上高及び売上原価はそれぞれ 2,786 百万円減少しましたが、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、当第 1 四半期末の製品は 309 百万円、原材料及び貯蔵品は 194 百万円それぞれ減少し、流動資産のその他が 504 百万円増加しております。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第 84 項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第 89-2 項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第 30 号 2019 年 7 月 4 日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第 1 四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第 19 項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第 10 号 2019 年 7 月 4 日)第 44-2 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,953,500	2,536,507	7,490,008	56,072	7,546,081	—	7,546,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	103,500	—	103,500	78,417	181,918	△ 181,918	—
計	5,057,001	2,536,507	7,593,509	134,490	7,727,999	△ 181,918	7,546,081
セグメント利益又は損失(△)	△ 185,758	56,102	△ 129,655	△ 8,400	△ 138,056	—	△ 138,056

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,555,756	3,031,240	6,586,997	92,324	6,679,321	—	6,679,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,245	—	58,245	34,738	92,983	△ 92,983	—
計	3,614,001	3,031,240	6,645,242	127,062	6,772,305	△ 92,983	6,679,321
セグメント利益又は損失(△)	348,149	132,257	480,407	△ 5,715	474,691	△ 34,738	439,953

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。